

トップメッセージ

# SHINKA

～未来に向かって成長～

代表取締役社長 系井辰夫



## 「ビジョン2015」最終年として

2015年の世界経済は、アメリカが好調さを示す中、中国や新興国の落ち込みが鮮明に表れ、全体的には不安定であったと言えます。

一方、国内経済は、円安によって輸出企業の収益の回復が見られましたが、海外経済の影響や個人消費の低下により、もたつき感のある景況でありました。

こうした中、当社は2010年よりスタートした第3次中期経営計画「ビジョン2015」の最終年として、国内では新造船「すずか」を就航させたほか、適切な内部統制機能を備えると同時に、海外を含めた内部監査の充実を図るために、内部監査室を新たに設置いたしました。

海外においてはASEAN地域の営業強化を図り、タイ、インドネシア、ミャンマーで新倉庫の建設に着手いたしました。また、シンガポール、フィリピン、中国の現地法人や駐在員事務所の集約化を図り、ダウンサイジングを行ってまいりました。このような取り組みによって、さらなる物流基盤の拡充と強化に着実な歩みを見せることができました。

そして2016年4月には、第4次中期経営計画「ビジョン2018」をスタートさせ、目標に向かって新たな第一歩を踏み出しました。

### 「ビジョン2015」実施期間中の主な事業活動

2010年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 航空機、宇宙関連機器の輸送に特化した特装営業部を新設</li> <li>● 優良通関業者としてAEO制度の認定を取得</li> </ul>
2011年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内陸倉庫「豊田物流センター」を稼働</li> <li>● 新造船「あつた丸」の就航</li> </ul>
2012年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 免震装置を備えた本社新社屋を竣工</li> <li>● 海運事業会社グループをM&amp;A</li> <li>● ミャンマー駐在員事務所を開設</li> </ul>
2013年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)フジトランス ライナー等、国内関連会社を再編</li> <li>● ミャンマー、インドネシア、カンボジアに現地法人を設立</li> <li>● タイで自社倉庫を稼働</li> </ul>
2014年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フィリピンに現地法人を設立</li> <li>● 朽木合同輸送(株)等、国内関連会社を再編</li> <li>● 鋼材センターをM&amp;A</li> </ul>
2015年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新造船「すずか」の就航</li> <li>● 海外を含めた内部監査の充実のため、内部監査室を新設</li> <li>● シンガポール、フィリピンの現地法人を再編</li> <li>● 中国事業のダウンサイジング</li> <li>● タイ、インドネシア、ミャンマーの新倉庫建設に着手</li> </ul>

## 新たな時代に向かって

「ビジョン2018」で、当社が目指す将来像はSHINKAです。昨今の絶えず変化する社会情勢と多様化する物流ニーズに対応するためには、当社がSHINKA(進化・真価・深化・新化・芯化)していくことが重要です。当社は創立以来、木材の荷役からはじまり、在来船・専用船の港湾荷役を通じて、次に来るモータリゼーションを予知し、自動車輸送の分野で成長を遂げてまいりました。先人に習い、さらに現況変化に柔軟に対応し、会社機能をSHINKAさせ、成長させていきたいと思ひます。

当社を取り巻く環境は、お客さまであるメーカーの海外シフト、TPPの大筋合意、少子高齢化による労働者不足など、大きく変化しています。ASEANを含む新たな成長領域への的確な進出判断、国内主要事業である港湾運送、船舶運航、船舶管理などの機能の強化に加え、このノウハウを活かし積極的に海外へ展開してまいります。これらグローバルな機能提案が、お客さまから当社を選んでいただける源となり、ひいては市況に左右されない当社の強みにつながっていくものと確信しております。



## オンリーワン企業を目指し

当社の物流を支えているのは「人」であり、最も大切な財産です。「企業は人なり」とあるように、人財育成は当社の重要な取り組みとして捉えています。

企業人として倫理観を持ち、謙虚に、愚直に、かつ何事にも当事者意識を持って、チームとして仕事に取り組むことが、大切なことだと私は思ひます。この姿勢の積み重ねによって、人と人がつながり、信頼となり、心に響く企業と

して魅力のある物流サービスをお客さまに提供できるのではないのでしょうか。

また、物流事業や地域に関わらず、グローバルな展開をしていくために、我々は、社は「和の精神」に通ずる「社会に尽くす」という志を持ち、自由な発想で創造を繰り返す、当社にしかできないサービスを提案するオンリーワン企業を目指してまいります。